

南の風



柏市立風早南部小学校
校長 伊藤 喜美子



「あいさつ」から 始めよう!



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

暖かい春の陽ざしが心地よい季節となりました。校庭の花々が美しく咲き誇って
いて、身体も気分も軽やかな今日この頃です。

さて、新学期が始まり、13名の新しい教職員と42名の新入生が風早南部小学校
に仲間入りしました。私も風早南部小学校に着任して、本校の素晴らしさをひしひしと
感じております。まずは、伝統校としての誇り。昨年、創立150周年を迎え、歴史の重み
を感じるとともに、地域の方々や保護者の皆様の支援の大きさも感じております。そして、
子どもたちの明るい笑顔とあいさつ。明るく元気にあいさつをしてくれる子どもたちに
元気をもらうことができました。そんなあいさつの力を子どもたちに伝えたい、そして、
さらに、明るく元気なあいさつのあふれる学校にしたい、との願いを持って始業式に
次のような話をしました。



校長先生が風早南部小学校に来て、感心したことがあります。それは、みなさんが
「おはようございます」と大きな声であいさつをしてくれたことです。校長先生は、とても
嬉しくなって風早南部小学校っていい学校だな、と思いました。気持ちを込めたあいさつ
は、人と人をつなぐ魔法の言葉です。始業式にドキドキしていたり不安に思ったりして
いる人もいることと思います。そんな時に、「おはよう・こんにちは・よろしくね」など、明る
く声をかけられたらどうでしょう。きっと、お互いに笑顔になって、不安も吹き飛ぶことと
思います。すべての始まりはあいさつから。明るいあいさつがあふれる学校にしていしま
しょう。と語りました。すると、次の日の朝、さらに笑顔いっぱいの「おはようございます」の
あいさつが聞かれ、子どもたちの素直な気持ちに改めて感心しました。本校は「あいさつ
とお掃除とお花の学校」私もこの伝統を引き継いでいこうと思います。

今年度は、コロナウイルス感染症対策を講じながらも、少しずつ本来の学校生活に戻っ
ていく過渡期の1年になることと思います。子どもたちにとって何が必要で、どのように取り
組んでいくのか、教職員一同、知恵を絞り工夫しながら、充実した教育活動を推進して
まいります。今年も引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

